



町長回誌

No.245

町長日誌の第 245 号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

3月23日 (土曜日) PM1:00

沙留保育所と興部保育所の卒園式が午前中に行われ、両方で 13 名の子供たちが小学校へと巣立ちました。それぞれ 2 年から 5 年の保育期間を経ての卒園ですが、入所時には泣いて親から離れられなかった小さかった子どもがしっかりと挨拶が出来るように成長した姿を見ることが出来るこの時期は町長として特にうれしい時です。小学校の入学式は 4 月 8 日です。皆さん元気に入学されますよう願っています。



2月27日 (火曜日)

北海道町村会の正副会長会議や担当の委員会そして理事会が札幌で開催されました。今日の会議は 4 月 25 日に予定している定期総会の議案審議でした。北海道町村会は全道の 144 町村が抱える課題解決のため道庁や国への要請活動と逆に国や道から新しい政策に対して意見を求められることもあります。役員は全道 14 地区の正副会長で構成され、現在の会長は釧路地区会長の白糠町長が務められていて、私は副会長 7 人のうちの一人を担っています。

3月5日 (火曜日)

令和 6 年興部町議会第 1 回定例会が開会され会期は 15 日までとなりました。今日は私の町政執行方針並びに教育長の教育執行方針の表明と補正予算の審議が行われました。以前にもこの日誌で書いたように思いますが町議会は定例と言われる開催月が決まっている議会が年 4 回 (3・6・9・12 月) あります。このうち、3 月は新年度の予算を決める議会とされています。また、町の会計年度は 4 月～3 月ですが実際には 5 月 31 日まで整理期間を設けていることから会計監査を受けるのは 8 月になります。この監査を受けて 9 月議会で前年度の決算審査が開催され認定を受けるようになっていて、町長の執行方針や予算案に則った事業や予算の活用がなされているか否かをこの 9 月議会で審査することになっているのです。

3月22日 (金曜日)

「特別交付税」の交付額が発表されました。町の収入は皆さんからお預かりする町民税や様々な手数料や公営住宅入居料などの使用料ほか自主財源と言われるものが約 3 割、国から交付される地方交付税が 4～5 割となっています。従ってこの地方交付税は人口の少ない町にとって欠かすことの出来ない財源となります。令和 5 年度予算 50 億 2200 万円に対し地方交付税は 24 億 5 千万円、そのうち特別交付税は 2 億円を予定していたところ、今回 2 億 670 万円が交付されることになりました。なんとか予算は確保出来ましたが昨年比 1783 万円の減額となりました。これは能登半島地震復興に予算が回されたことが大きく影響しており被災地のことを考えると致し方ないことと思っています。

間もなく年度も終了です。退職や人事異動の季節です。道庁も副知事が交代するようですし、オホーツク総合振興局長も定年退職により交代となります。町においては今年から定年が 1 年延期となるため退職はありませんが 15 日には管理職、19 日には一般職の異動内示を行いました。また、新規採用者もいますので町民皆様のご指導をお願いいたします。進学や就職のため町を離れる人も多いと思いますが体に気を付けて頑張ってください。では、また。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など（使い古しのもので構いません）に入れ、封をして、役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務係まで。TEL 82・2131 です。

